

令和5年度第2回半田市子育て支援事業検討プロジェクト会議議事概要

開催日時	令和5年6月6日(火)	10時00分～11時00分
開催場所	クラシティ 3階 ミーティングルームB	
会議次第	1 提案内容の整理、提案書のまとめについて 2 提案書報告会について 3 その他	
出席委員	(委員) 青柳 美奈実、松石 未央、濱口 彩奈、寺本 幸絵、森 真実也、杉浦 淳、宗森 奈津子、羽根 広 (敬称略)	
出席職員	子ども育成課長 小林 徹 子ども育成課主事 豊田 祐輔	子ども育成課主査 瀧田 裕樹 子育て相談課保健師 今井 美里
次 第	議事概要	
提案内容の整理、提案書のまとめについて	<p>提案書(案)について、前回の会議で委員の皆さんからご意見いただいた部分を、事務局で修正したため、それに対する確認を行った。修正を反映させた提案書(案)については、下記のとおり。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>● 提案書(案)</p> <p>1 子どもたちのために</p> <p>(1) 遊び場の充実</p> <p>① 屋内で体を動かして遊べる施設の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨の日や暑い日など、どんな天候でも屋内で体を動かして遊べ、託児、講座、健診等もできて、外で遊べる公園もある一体的な複合施設を設置してほしい。 ・小さい子から小学生ぐらいまでが、雨の日にも体を動かせる遊具や場所があるといい。理想は、体育館のようなホールで、ボール遊びもできるような施設があるといい。 ・年齢によってスペースが分かれている屋内の遊び場を設置してほしい。 ・子育て支援機能を持つ複合施設がほしい。作る際には市民の意見を取り入れる構図を作るべき。 <p>② 未就学児が安全に遊べる、屋外の公園を設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水遊びができる場所を増やしてほしい ・暑さや天候を気にせず遊ばせられる場所を増やしてほしい(体を動かせる場がなかなか見つからない、屋根付き公園や水遊びのできる場所) <p>③ 児童センターの環境の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童センターの遊戯室に赤ちゃん専用の時間帯を設置してほしい。 	

- ・夏休みなどの長期休暇中、全ての児童センターで宿題のできる環境にしてほしい。
 - ・有資格者を増員する。
 - ・昼の時間が途切れてしまうため、昼の時間を全館開館してほしい。
 - ・日曜日を当番制にして開館してほしい。全館閉まっていると本当に行くところがない。どこか1館でも開いてほしい。
 - ・新しいおもちゃがほしい。
 - ・明るい雰囲気児童センターの環境を底上げしてほしい。※
- ※公営5館の環境整備費を令和5年度予算に計上

(2) 子どもの健全な成長促進

①オーガニック給食の導入

- ・年間約200食の給食を食べるため、無農薬や有機の野菜を取り入れるようにしてほしい。

②ランドセルの代わりにリュックを支給

- ・小学生に、軽くてコンパクトな通学かばんを支給してほしい。ランドセル症候群といって、自分の体に合わない大きなカバンを背負って、精神的にも肉体的にも疲弊するということがある。

2 子育て中のあなたのために

(1) 親子が集う場所・機会の充実

①親子が食事をできる場所の設置

- ・食べ物持ち込みOKの遊び場やランチできる遊び場があるといい（児童センターなど）。
- ・子どもと一緒に食事ができて遊べるスペースもあるような場所があると嬉しい。

②気軽に親同士が交流できる機会の充実

- ・気軽に親同士が交流できる機会が少ない。例えば、気軽におしゃべりができて、講座を一緒に受けられれば、児童センターの利用率もあがると思う。

(2) 子育て世帯の支援の充実

①おむつ替えのスペースや授乳室をすべての施設に設置

- ・おむつ替えのスペースや授乳室はすべての公共施設に整備してほしい。施設がないと、車まで戻らないといけないため不便。
- ・おむつ替えや授乳のできる施設が増えるときょうだいのお出かけがしやすくなる。

②一時保育の充実

- ・一時保育を無料で利用できるよう、子育て応援クーポンのようなものがあるとよい。利用したことがない親に利用してもらおう機会となる。また、親の負担軽減につながる。
- ・一時預かりについて、事前予約が必要であったり、当日はんだっこに電話しても断られてしまうことがあり、使いたいときに使えない。事前予約なしで預けることができる施設がほしい。
- ・児童センターで一時保育をできるようにしてほしい。
- ・私的な理由による預かり保育の回数を増やしてほしい。

③幼稚園・保育園の利便性向上

- ・年度途中の入園をもう少し早く決めることはできないか（大府市では前年度中に決まる）。
- ・早朝保育を朝7時から実施してほしい。共働き世帯にとって有難い。
- ・保育園の様子を動画で公開してくれるとイメージがしやすい。子どもを連れて見学に行くことは大変なため。
- ・入園までに慣らし保育ができるようにしてほしい。

④講座・育児参加の充実

- ・パパ向け講座を充実してほしい。
 - ・妊婦向けの講座を児童センターや子育て支援施設で開催してほしい。出産前から行政との関係が築ける。
 - ・幼児食の講座があるとよい。栄養士等からレシピ等を教えてほしい。※
 - ・赤ちゃん連れで参加する講座のときに、保育士（託児をしてくれる）を配置してくれると安心できる。
- ※はんだっこにて、「もぐもぐ教室」を開催。栄養士との相談が可能。

⑤経済的負担の軽減

- ・子どもの医療費を無料化してほしい。
- ・はんだっこの駐車料金を無料化してほしい。
- ・きょうだいの保育園在園にかかわらず第3子の保育料を無料にしてほしい。
- ・小学生に、軽くてコンパクトな通学かばんを支給してほしい。ランドセルは高価なため、リュックを支給してもらえると嬉しい。
- ・半田市の学童保育の利用料金を安くしてほしい。

⑥手続きのオンライン化

- ・保育園の入園をオンライン申請できるようにしてほしい。※
 - ・オンライン申請の普及を進めてほしい。保育園入園手続きだけでなく、その他の手続きも簡単にできると働く親にとっては大きなメリットになる。
- ※国の方針により令和5年度（令和6年度入園分）実施予定。

⑦公共施設のトイレの環境整備

- ・児童センター等の和式のトイレを、子どもが使いやすいようにしてほしい（洋式化、補助便座の設置、手洗い場を低く（足場を作る）してほしい）。
- ・児童センター等のトイレをキレイにしてほしい。

その他の意見

【子育て世帯の声】

- ・赤ちゃん連れが行きやすい施設（対象年齢ごとに整備、年齢にあったおもちゃ、施設、親目線の講座）を設置してほしい。
- ・一時保育は何もないときに預けてはいけない雰囲気がある。
- ・子どもを産む前から子育ての準備や支援を受けられる場があるとよい。
- ・公園や施設を作る際、子育て経験者の目線で意見を取り入れる仕組みがほしい。
- ・図書館が古く、幼児が本を読むスペースにマットが敷いてあるが古い。科学館も同様。安全面も含め改善してほしい。※1

<p>提案書報告 会について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1歳半健診等を地域ごとにできると、親同士も子ども同士も顔見知りになる。一度きりの関係性だともったいない。健診や講座等を地域でできるといい。 ・給食時の、はし箱セット、給食エプロンをなくしてほしい。※2 ※1 図書館の幼児スペースマットについては、令和2年5月に張り替え済 ※2 はし箱セットについては、令和6年9月廃止予定 <p>この会議で完成した提案書を、市長へ直接お渡しする提案書の報告会を実施する。委員の皆さんにお集まりいただき、森会長が代表して提案書をお渡しする。また、市長との懇談の時間を設ける。</p> <p>※日時と場所は下記のとおり決定 →令和5年7月3日（月）午前11時00分から午前11時30分 半田市役所4階 市長応接室</p>
	<p>(以上)</p>